

MOBILE ARMOR

モビルアーマー形態

REAR VIEW

リアビュー

RX-139 HAMBURABI

TITANS PROTOTYPE TRANSFORMABLE MOBILE SUIT



MODEL NUMBER : RX-139
 HEAD HEIGHT : 19.9m
 WEIGHT : 34.6t
 TOTAL WEIGHT : 56.9t
 GENERATOR OUTPUT : 1,540kw
 MATERIAL : GUNDARIUM ALLOY
 ARMAMENTS :
 BEAM SABER
 BEAM RIFLE
 UMIHEBI (KUMONOSU)
 FEDAYEEN RIFLE
 CLAW
 TAIL LANCE



DETAIL



RX-139 ハンブラビ

RX-139 ハンブラビは、TVシリーズ「機動戦士Zガンダム」および劇場版「機動戦士ZガンダムII～恋人たち～」 「機動戦士ZガンダムIII～星の鼓動は愛～」などに登場する試作型可変MSである。ティターンズのMSパイロット、ヤザン・ゲーブルは「野獣」のような男であった。組織としてのティターンズは彼を御しきれず、結果、上官のジャマイカンは混戦のさなか、MK-IIをおびき寄せたヤザンの巧妙な立ち回りによって謀殺されてしまった。その後ヤザンは、木星帰りの男シロッコが指揮するドゴス・ギアへと放逐される。「ハンブラビはどうか？ ヤザン大尉」「気に入らん。得体の知れない力を感じる」「そう思うのは、ヤザン大尉が今まで案をしてきたからだ」色をなすヤザンをシロッコは軽蔑する。「フフフ、バブテマス・シロッコ、お前は面白いな」以後、ふたりは肝胆相照らす仲となる。折しもドゴス・ギアは、アクシズに向けてアーガマと先陣争いをしているさなかであった。水を得た魚のようにハンブラビを駆り、Zを、そしてアーガマを追いつめるヤザン。しかしアーガマとの接触を優先したアクシズは、ガザCの大部隊でドゴス・ギアの部隊を排除する。後退を余儀なくされたヤザンは、以前にも増してアーガマとZを、そしてカミーユを執拗に付け狙うこととなる。かくして「グリプス戦役」も終局を迎えつつあったグリプス2=コロニーレーザーを巡る三つどもえの乱戦のなか、明確な殺意をもってカツを、そしてヘンケンのラーティッシュを葬り去ったヤザンは、遂にカミーユと対峙する。カミーユは多くの人々が死んでいった事を悼み、ヤザンをなじる。「お前もその仲間に入れてやるってんだよッ!!」「遊びでやってんじやないんだよ!!!」カミーユが叫ぶや否や、Zは不可思議な光を放ち始める。「こ、こいつは何だ!?!」その光はさながらバリアーのようにビームを弾く。尋常ではない。堪らず反転するヤザン。しかし、Zの構えるサーベルのビームは異様なほど巨大化し、遙か後方からハンブラビを両断せんと迫る!! 果たして!!!



ヤザン・ゲーブル



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご確認ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 ※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

<p>●本体等：</p> <p>ホワイト(35%) +ブルー(20%) +コバルトブルー(20%) +インディブルー(15%) +クリアレッド(10%)</p>	<p>●腹部等：</p> <p>ネービーブルー(50%) +ブルー(25%) +ワインレッド(15%) +ブラック(10%)</p>	<p>●腹レッド部等：</p> <p>レッド(80%) +オレンジイエロー(20%) +ブラック(少量) +ニュートラルグレー(少量)</p>	<p>●動かパイプ等：</p> <p>イエローグリーン(40%) +ホワイト(35%) +スカイブルー(25%)</p>
<p>●ハンドパーツ等：</p> <p>ホワイト(90%) +ニュートラルグレー(10%)</p>	<p>●足部等：</p> <p>コバルトブルー(50%) +ブルー(35%) + ブラック(15%)</p>	<p>●フェダーイン・ライフル：</p> <p>ニュートラルグレー(65%) +ブラック(35%)</p>	

1/144 SCALE

HG

UNIVERSAL CENTURY

GUNDAM.INFO Search

www.gundam.info

バンダイホビーサイト | www.bandai-hobby.net/
 Fees accrued by your communication and connection to the internet are under customer's responsibility.
 ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様の自己責任となります。

















注意
必ずお読みください

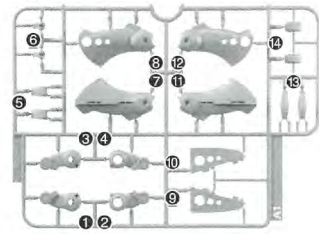
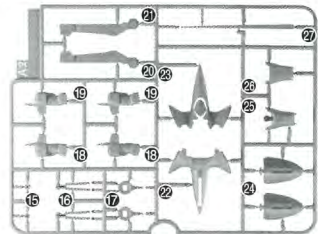
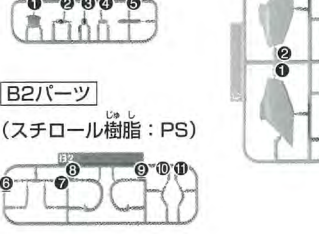
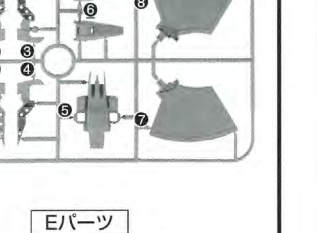



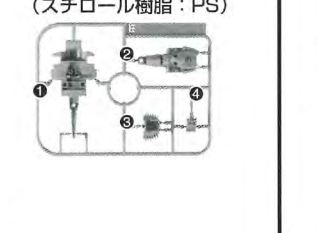

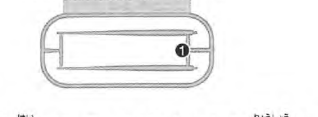
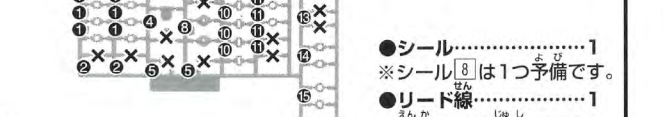
- とがった部品がありますので、8才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所がありますが、きをつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

 切り取る線に沿って切る	 シールの番号	 デカールの番号	 反対側に取り付けるパーツ	 両側に同じパーツを取り付ける	 向きに注意して取り付ける	 ピンの締めすぎに注意
 切り取る	 部品を数値の個数作ります	 先に組み立てます	 後に組み立てます	 数値に合わせて回転させます	 どちらかを選んで取り付ける	 反対側も同じように動かします

パーツリスト (×印は使用しないパーツです。)

A1パーツ (スチロール樹脂: PS)	A2パーツ (スチロール樹脂: PS)	B1パーツ (スチロール樹脂: PS)	Cパーツ (スチロール樹脂: PS)
			
D1パーツ (スチロール樹脂: PS)	D2パーツ (スチロール樹脂: PS)	B2パーツ (スチロール樹脂: PS)	Eパーツ (スチロール樹脂: PS)
			
Fパーツ (スチロール樹脂: PS)	SB6パーツ (スチロール樹脂: PS)	PC-001A (ポリエチレン: PE)	
			

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

●シール.....1
※シール8は1つ予備です。
●リード線.....1
(塩化ビニル樹脂: PVC)

1 ※7は [] で示した部分の好きな所に貼ります。
※この向きで貼ります。(シール) 7

2 E3
D123
PC4

3 (後に組む) (シール) 8
PC12
E1

4 x2 (2個作る) (シール) 8
A224
A222 (後に組む)
B11

5 B28
B29
《前から見た図》

6 C6
PC1
PC14
PC14

7 5
6

8 D11
D16
B26
D17

9 D21
D26
B27
D27

10 7
8
9
《両側動かす》

11 10
C6
C7
《裏から見た図》 (シール) 2

12 A27
PC10
A24
A20
PC10
《裏から見た図》 (シール) 1
(後に組む)

13 11
12

14 13

15 x2 (2個作る)
D23
D13
PC10

16 x2 (2個作る)
《組み付け位置》
D24
D14
D25
D15
PC15
(後に組む)

17 x2 (2個作る)
D21
D11
PC11
D12 (D22)

18 **×2** 2個作る
A217

19 **×2** 2個作る
18

20 **×2** 2個作る
A219
PC1

(後に組む)
A218

《組み付け位置》

21 D114
D115
D119
D118
(選んで取り付ける)

22 D120
D121
D122
D113
D112
D116
(選んで取り付ける)

23 14で作ったボディ
21で作った右腕
22で作った左腕

24 **×2** 2個作る
C3
C4

A16
C6

25 **×2** 2個作る
(D28)
D18
PC11
PC1

26 B211
A11
※切り取らないように注意。

27 (後に組む)
PC8
A12
25
※PCパーツを押さえながら取り付けます。

28 27
A113
(両側に貼るシール)

29 **×2** 2個作る
A114
PC3

30 **×2** 2個作る
D19
(D29)
PC1
29
(後に組む)

31 A110
30
A16
《組み付け位置》

32 28
A110

33 32
A110
24

34 C2
PC9

35 A13
B210
※切り取らないように注意。

36 A14
PC8
(後に組む)
25
※PCパーツを押さえながら取り付けます。

37 36
A18
(両側に貼るシール)

38 A17
30
A16
《組み付け位置》

39 A18
37

40 39
24
A19

41 C1
PC9

42 A225
PC1
A226

43 (下から見た図)
42
で作った腰部
D17
(向さに注意)

44 23
43

※バンダイプラモデルアクションベース2(別売り)差し込み用(丸型)BA4-A9

45 (前から見た図)
F4
F1
PC1
(切り取る)
(後に組む)
F7

46 (裏から見た図)
45
F6
F2
F3

47 ※手首は外しておきます。
(左手にも持たせられます)

46で作ったフェダーイン・ライフル



RX-139 HAMBRABI

「RX-139 ハンブラビ」は、ティターンズが開発した試作型可変MSである。設計にはパブマス・シロクが関与しており、量産を前提とした簡易的な変形機構が採用されている。ムーバブル・フレームとマグネット・コーティング技術の採用により、人型のMS形態からエイのようなMA形態への変形は約0.5秒で完了する。機体の質量バランスや挙動特性を能動的に変える事で“人体の模倣では不可能な戦闘”を展開できる。例えば、戦い慣れたパイロットが搭乗した場合、中距離から砲撃した次の瞬間、敵機に肉迫し捕縛や打突を加えるなど、相手を翻弄するかのよう多彩な攻撃が可能となる。基本的に可変MS=TMSは、単騎に複数の機能を付与する事で展開領域を拡大したり、ユニットとしての特性を変えることで戦術を拡大する事を目的としていたが、本機の変形はむしろ“戦い方”をシフトするためのものであったと言えるだろう。武装やスラスターなどのスペック自体は標準的なものだが、加速性や運動性などの機体特性は“変形”によって目まぐるしく入れ替わり、MSZ-006 Zガンダムをはじめとするエウゴの新鋭機を苦め、あるいは撃破している。多くのTMSは、いわゆるMA形態の際に“格闘”機能を喪失するが、本機はRX-110 カプスレイと同様、いずれの形態でも対MS格闘機能を維持している。ちなみに本機はティターンズ管轄の試作機扱いで、開発拠点コードは旧ア・バオア・クーこと“ゼダンの門”を示す“13”、その9番目の機体として制式登録されている。これは基本的に量産機のフォーマットで、実際に整備性や生産コストは優秀であったものの、存分に乗りこなすには高い技能と独特な“戦闘センス”の様なものが必須であったため、数機が建造された時点で量産は見送られ、カテゴリーは結局、試作機である“RX”のままであった。

SPEC
 型式番号: RX-139
 頭頂高: 19.9m
 本体重量: 34.6t 全備重量: 56.9t
 ジェネレーター出力: 1,540kw
 装甲材質: ガンダリウム合金
 武装: ビーム・サーベル

テールランス
 MA形態時には両脇のフィンと併せてスタビライザーとして機能し、MS形態時には物理的な突撃装備として機能する。専用で鍛造されたガンダリウム合金製で、MSの装甲を物理的に貫通することができる。

ビーム・サーベル
 標準的な性能のビーム発振デバイス内蔵する基本的な武装。通常は腕部内側のホルダーに収納されている。収納時にはビーム・ガンとしても使用可能。

背部ビーム・ライフル
 バックパックに装備する可動式のビーム・キャノン。ビームユニット自体はライフル用の規格品を使用しているため、便宜的に“ビーム・ライフル”と呼ばれる。

モノアイ

顔面、両肩、後頭部に計3基装備する。胸から頭部にかけてのユニット全体が、旧世紀の戦闘機のような複合的なセンサーレイになっており、各形態で状況に応じた最適化された情報をパイロットに伝達する。

海ヘビ(クモの巣)

手持ちのオプション兵器。敵機にワイヤーを巻き付けての拘束も可能。電撃を加える事で電子機器やパイロットにダメージを与える。先端部はバーニアで操作可能。他機との連係でネット状に展開することもできる。

フェダーイン・ライフル

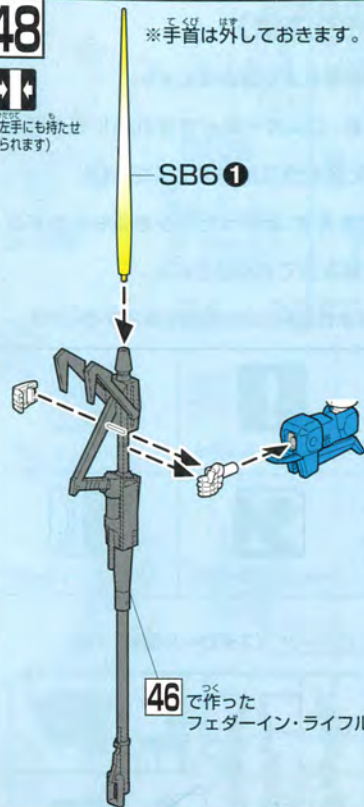
この時期、ティターンズサイドがよく使用した強力なビーム・ライフル。Zのものと同様、ロング・ビーム・サーベルとしても使用できる。ちなみに“フェダーイン”とはアラビア語で“戦士、闘士”のこと。

腕部クロー
 どちらの形態でも使用できる新撃用の装備。MA形態時にはランディング・ギアとして使用する事も可能。

※画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。

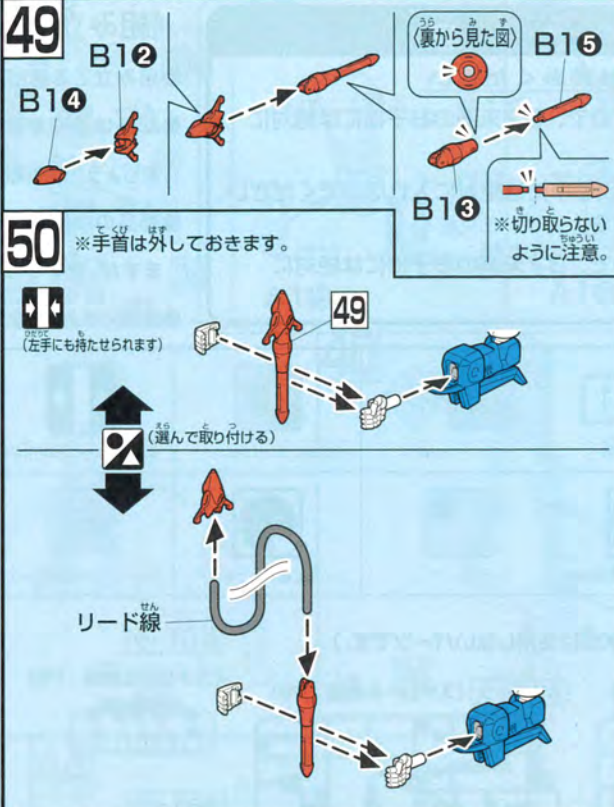
48

※手首は外しておきます。
 (左手にも持たせられます)



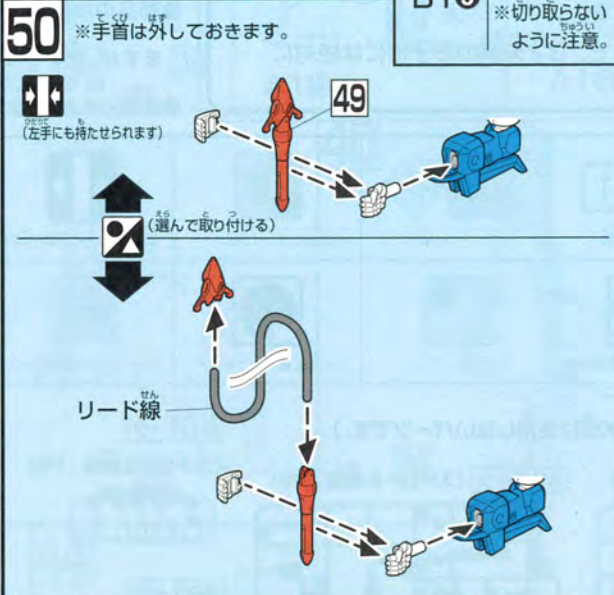
49

※手首は外しておきます。
 (左手にも持たせられます)



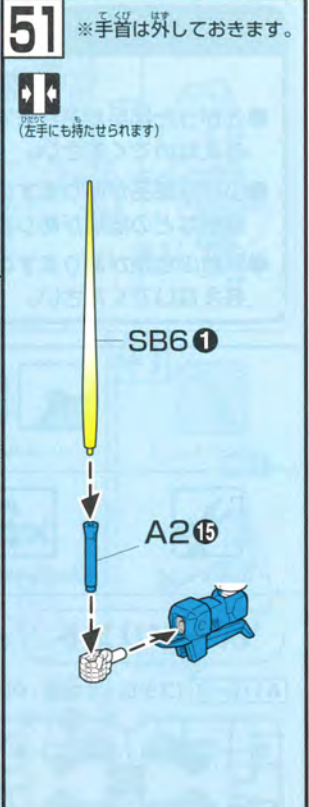
50

※手首は外しておきます。
 (左手にも持たせられます)

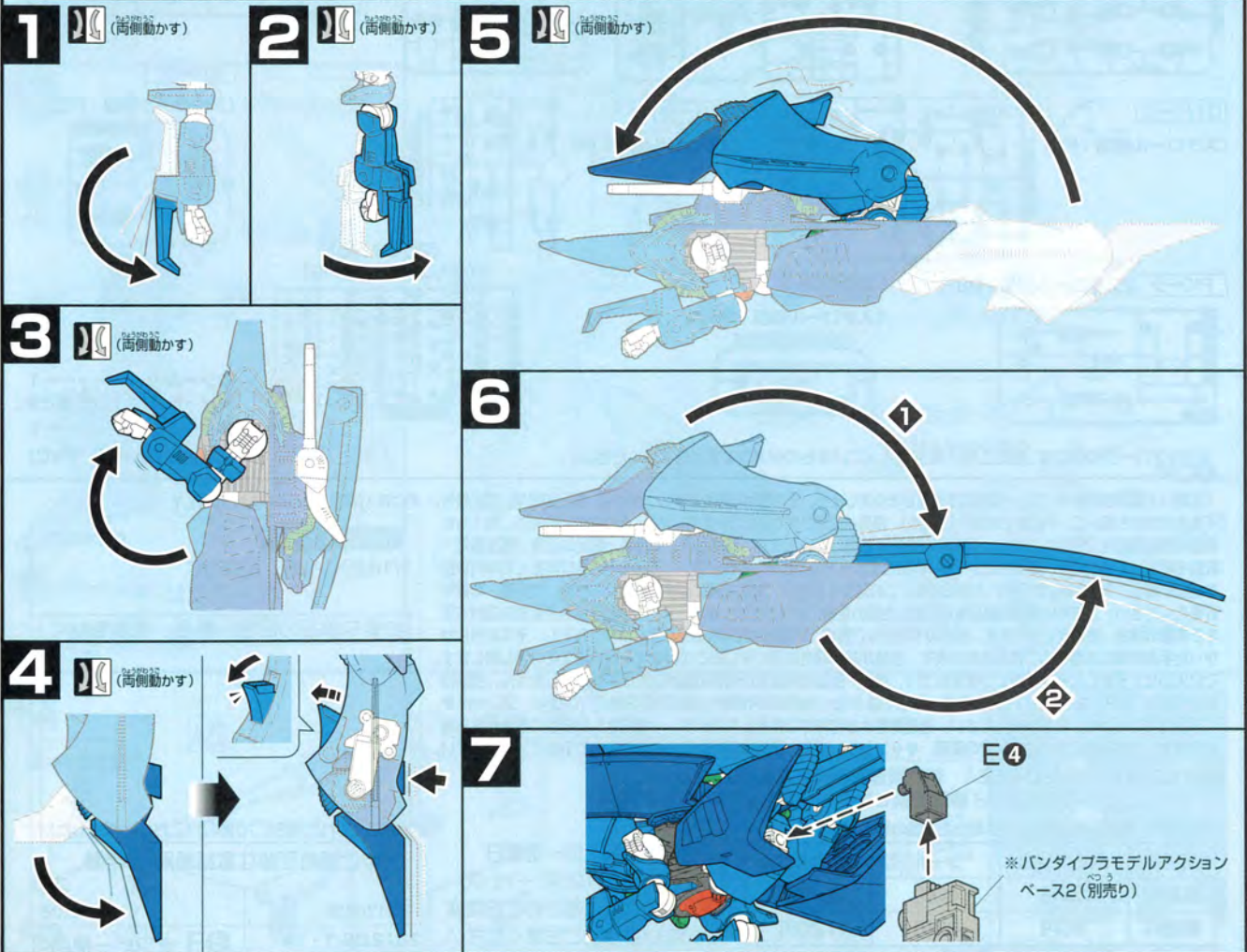


51

※手首は外しておきます。
 (左手にも持たせられます)



モビルアーマー形態への変形



ティターンズ所属の様々なMSをHGUCで確認せよ!!

地球連邦軍が開発した可変MS。追加ブースターや両腕のムーバブル・シールド・バンナーが特徴。

地球連邦軍が開発した可変MS。ムーバブル・フレームを本格的に導入し、MA形態でも格闘戦に対応可能。

地球連邦軍が一年戦争後にジオン軍の技術を取り入れて開発した量産型MS。

AE(アナハイム・エレクトロニクス)社が、ハイザックの後継機として開発した量産型MS。

HGUC No.012 ハイザック **HGUC No.042 キャプラン** **HGUC No.052 マラサイ** **HGUC No.058 ガブスレイ**